

2013年7月

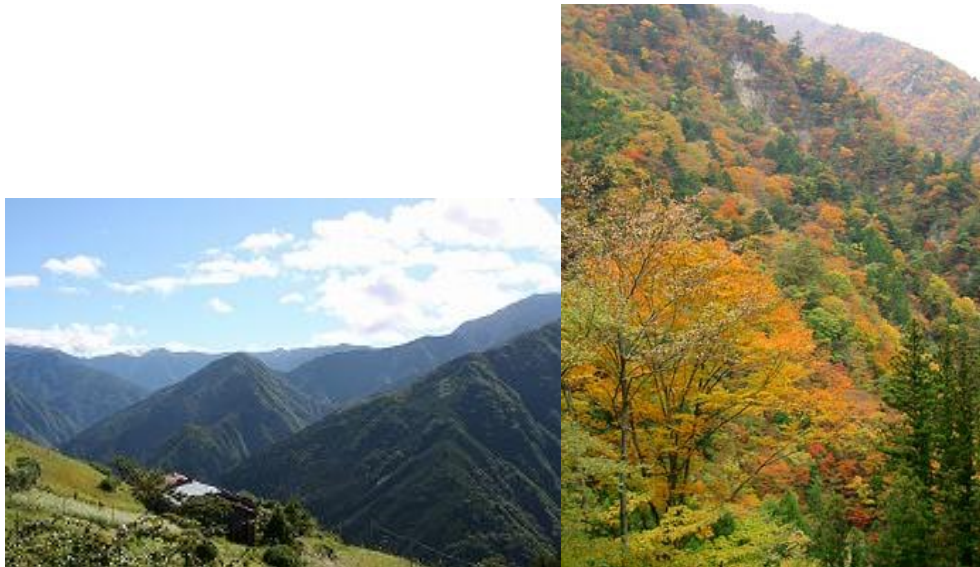
遠山藤原学校研修

—遠山郷三回来れば何かが変わる。遠山郷を第二の故郷に—

(長野県最南部の遠山郷で、藤原直哉と21世紀的ライフスタイルを学ぶ)

7月：遠山郷で「雄大な自然」に親しむ

(中央構造線の断層露頭、雄大な南アルプス、隕石クレーター、下栗の里など)



研修日程：2013年7月27日（土）・28日（日）

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修主催：シンクタンク藤原事務所

旅行手配・バス運行：マツカワ観光バス株式会社

< 1、研修の内容 >

このたびは、2013年7月遠山藤原学校研修の資料請求をしていただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつとされています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、人と自然の本物の共生を体験したい人には、絶対お勧めの地域です。

さらに遠山郷は人情の里でもあります。特にこの研修では夜の懇親会に地元の有志をお招きして共に食卓を囲み、お酒をいただき、楽しく交流していただきます。そうした心のふれあいがとても自然に、楽しく行われるのも、人情の里、遠山郷の非常に大きな魅力です。

遠山郷は一言で言えば里山に囲まれた地域です。里山というのは、人が住む里と、人が行かない深山の間にある山のことで、里に暮らす人たちの生活のために手を入れられている山のことで、里山では人と動物、自然が共生していて、本当に日本の原風景とも言えるような姿がそこにはあります。特に戦後の近代化のなかで全国各地の里山が荒廃し、自然の生態系や人との共生生活が崩れてしまった場所が多く、遠山郷も例外ではありません。既に限界集落になっている場所も多い遠山郷では、我々のように外から来た人たちも手伝って、何とか里山を復活し、遠山郷にかつての賑わいを取り戻そうという動きが本格化しつつあります。

6年前から始まった遠山藤原学校は毎年参加者が増えていまして、今年も4月から12月までの毎月開催です。今年の遠山藤原学校研修のテーマは「遠山郷三回来ると何かが変わる。遠山郷を第二の故郷に」です。

この6年間に本当に多くの方々に遠山郷へお越しいただいておりますが、リピーターの方がたくさんいらっしゃいます。その方々のお話を伺うと、遠山郷に3回来ると何かが変わるとおっしゃるのです。確かに遠山藤原学校でみなさんのお世話をしてくださる遠山郷スタッフの方々も、最初は遠山藤原学校の参加者としていらっしゃいました。何度もいらっしゃるうちに、スタッフとしておもてなしをする側に回ってくださったのです。

これだけ今までの時代が行き詰り、また新しい時代の気配が感じられているわけですから、どうぞみなさんも新しい21世紀人としてますます前進していただきたいと思います。そのためにもどうぞ遠山郷の歴史の厚みと豊かな大自然のなかで、非日常の強い気を浴びて新しい元気を得ていただき、どんどん流動化する今の時代に、遠山郷を第二の故郷にしたいと思います。

今回の研修では1日目の藤原直哉の講演の時間は、学習グループと里山ロハス体験グループの2グループに分け、観光や体験よりも、もっと勉強をしたいという方々のためのプログラムと、遠山郷の里山とロハスの体験をしたいという方々のためのプログラムを用意することにしました。

遠山郷でたくさん勉強をしたい、勉強仲間を得たいという方は、ぜひ学習グループにおいでください。またご家族でお越しの方でお父さんは勉強、子供さんと奥さんは里山とロハスの体験をと、ご家族それぞれにプログラムをお楽しみいただくこともできます。また里山ロハス体験グループにご参加の方にも学習グループで藤原直哉がお話した録音を、インターネットからのダウンロードの形で無償提供させていただきます。

1日目の午後の講演は藤原直哉が語る「21世紀の精神世界と生き方」、今年は各方面で相当な変化が予想されます。ですから講演の内容については事前に教科書を定めず、臨機応変にその時の状況に応じてお話していきたいと思います。

まず、1日目は12時30分に、遠山郷の中心、和田地区にあります国道152号線沿いの道の駅「遠山郷」内の、アンバマイ館という遠山郷観光協会の施設に集合していただきま

す。電車でお越しの方は、まず JR 飯田線の平岡駅までお越してください。東京方面からお越しの方は、東京 8 時 33 分発のひかり 505 号にご乗車いただき、豊橋に 9 時 58 分着。そして豊橋 10 時 8 分発の飯田線の特急伊那路 1 号に乗り換えて、平岡には 11 時 57 分に到着します。

JR 飯田線の平岡駅から道の駅「遠山郷」内にあるかぐらの湯バス停までは乗り合いタクシーをご利用ください。お 1 人 650 円、所要時間約 20 分、特急の到着に連絡していますので、下車後、駅前広場まで階段を下ってください。そこでワンボックスタイプの乗合タクシーにお乗りください。平岡駅の予定発車時刻は 12 時 10 分、かぐらの湯には 12 時 30 分に到着です。そしてアンバマイ館はかぐらの湯バス停の目の前です。また自家用車でお越しの方は、中央自動車道の飯田、松川、飯田山本インターチェンジから約 1 時間です。

さて、集合場所の「アンバマイ館」という名前の由来ですが、「あんばまいか」というこの地方の方言からとったもので、「遊びましょう」という意味です。方言には標準語にはない温かみがあります。また遠山郷では方言で、よく語尾に「だに」をつけます。地元の方と話をすると必ずといっていいほど聞くことができる方言です。

今回の研修ではアンバマイ館に集合してから、みなさんに自己紹介をしていただきます。それから地元の若者が経営するレストラン「食楽工房 元家 (げんや)」にて昼食をいただきます。遠山郷も若い人が本当に少なくなりましたが、このレストランはそのなかで元気な若者が活躍している注目の場所でもあります。

そして昼食後は和田地区の中心街、江戸時代から伝わる国道 152 号線・秋葉街道の宿場町、和田宿を歩いて通ります。秋葉街道というのは遠州の秋葉神社と信州を結ぶ街道のことで、鉄道が開通する以前は信州と遠州をつなぐ重要な人と物資の道でした。今は半ば忘れられたようにひっそりとたたずんでいます。江戸時代に整備された宿場町の面影が残り、昭和 30 年代、遠山郷が林業ブームで沸き立ったところに建てられた昭和時代の家も残っています。昔の魚屋さん、昔の映画館のあと、その昔、この土地が大きく栄えていたところに建てられたであろう大きな土蔵……。そして徳川家康の時代から建っていると伝えられている家などをゆっくり見学します。

それからこの地域を治めていた遠山氏の菩提寺、龍淵寺に行きます。龍淵寺は江戸時代に徳川氏に滅ぼされたこの地域の豪族、遠山氏の居城跡に建てられたお寺で、その境内に沸く観音霊水をいただきます。観音霊水は 4 百年以上前から湧いているお水で、真夏や早魃でも枯れずにいつも冷たくておいしい水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、カルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多い、すばらしい名水であることがわかり、最近では地元や近郊の方はもちろんのこと、東京や大阪から百リットルも 2 百リットルもお水を汲みに来る方がおられます。こういう硬水は味にクセが強いことが多いのですが、観音霊水は硬水でありながら大変口当たりがよく、特にコーヒーや紅茶にして飲むとおいしく、また日持ちが大変良いので、非常用のお水としても汲みに来る方が絶えません。また境内には樹齢 5 百年の観音大杉があります。これは根元が一体となった 4 本の杉で、家族和合のしるしとして、参詣する人が絶えません。さらに龍淵寺には 2 年前に再建された総けやき作りの立派な観音堂があります。このお寺では長くお写経を続けていて、奉納されたお写経がこの観音堂に納められています。光堂と名付けられた観音堂からは和田宿が一望できます。

それから観音霊水の隣にある「殿町の茶屋」に行きます (もし売り切れ仕舞いになっていた場合は 2 日目の朝に訪問)。ここは地元の女性が経営しているお饅頭屋さんで、名物のふじ姫饅頭はその日の朝に作って売切れたら終わりという非常に人気の高いお饅頭です。遠隔地から来られる方はどうしても遠山郷に来るのが午後になってしまい、何度来ても売り切れで食べられないという幻の饅頭でもあります。よもぎとそばの 2 種類の饅頭が 8 個入って千円のおふじ姫饅頭は、遠山郷の外はもちろんのこと、遠山郷のなかでもこの殿町の茶屋でしか販売されておらず、ファンが絶えません。さらにここではお店の方がお客さんにお茶やお漬物

を接待していただき、多くの方が地元のみなさんの暖かい人情に触れて感激していかれます。

さらに遠山郷土館「和田城」を訪問します。ここは遠山郷の郷土資料館で、この地区に数百年前から伝わる国の重要無形民俗文化財、遠山の霜月祭りのビデオや複製の面(おもて)、また林業に関する展示、さらには遠山氏の子孫の方が伝えている宝物などを見学します。またこの1階の一部は喫茶店、カフェ「和田城」になっていて、目の前の観音霊水で入れた大変おいしいコーヒーをいただき、一服していただきます。

その後はグループに分かれての活動となります。まず里山ロハス体験グループは、遠山郷スタッフの車に乗って遠山藤原学校の拠点がある木沢地区に向かいます。そして遠山藤原学校観光農園で夕方まで農業体験をしていただきます。

一方学習グループは、遠山郷土館の会議室にて、「21世紀の精神世界と生き方」と題して、藤原直哉の講演をお聴きいただきます。遠山郷のすがすがしい気を浴びながら、夕方の温泉の入浴まで、是非ゆったりと勉強してください。

その後夕方から両グループが再び合流し、遠山温泉郷かぐらの湯でゆっくりと疲れを癒していただきます。かぐらの湯の源泉は、全国でも珍しい43度の高濃度塩化物温泉で、体がよく温まり、浴室内で温泉を飲用することもできます。この地域は日本列島を東西に走る中央構造線という大断層のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所です。この温泉もそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉で、豪快な雰囲気が多くファンを惹きつけています。

そして今日のお宿である八重河内地区の「いろいろの宿島畑」に行きます。ここは遠山郷でも最も人気の高いお宿のひとつで、地元の方との交流を深めながら、地元のお料理を皆さんで楽しめます。ぜひ、今回も遠山郷の地元のみなさんと和やかに、そして懐かしく、交流を深めていただきたいと思います。余興もいろいろ出てくると思います。遠山郷らしい豪快なおもてなしと、人懐っこい交流をぜひ体験し、お楽しみいただきたいと思います。

その後、ご希望の方は地元のカラオケスナック「セラード舞夢(まいむ)」へお連れします。実は毎回、遠山藤原学校はこの二次会の舞夢が大変盛り上がるのです。参加者の皆さんが本当にリラックスして語り合い、歌う姿はとても明るく温かい雰囲気に満たされています。どうぞ遠山郷の夜を舞夢で元気にお楽しみください。

2日目は旅館で朝食をいただいた後、7時に宿をバスで出発し、まず和田地区の観音霊水、殿町の茶屋に行きます。観音霊水を汲んで帰られる方は、ぜひポリタンク、ペットボトルなどをお持ちください。また殿町の茶屋のふじ姫饅頭をお土産に買って帰られる方も、このときにお買い求めください。

その後、険しい峠道を走り、中央構造線の露頭が見える安康の露頭に寄ります。ここは長野県の天然記念物にも指定されており、川の反対側に見事に断層が見えていて、足元にはさまざまな種類、色の石が落ちています。そこに分布される岩石には中央構造線の約8000万から9000万年前の活動が刻まれており、その価値の高さからこのたび国の天然記念物にも指定されることになりました。

そしてさらに白樺の景色がさわやかな山道を走り、しらびそ高原を訪れます。しらびその名はマツ科の常緑針葉樹から由来していますが、眼前には南アルプスが雄大に広がり、天気良ければ北アルプス、中央アルプスまで望むことができ、その神秘のパノラマは全国の天文愛好家からは聖地とされるほどです。まさに今回の遠山藤原学校のテーマ『遠山郷で「雄大な自然」に親しむ』にふさわしい舞台です。このしらびそ高原で昼食をとります。昼食は、お宿の島畑さんにお弁当を作ってください、持っていきます。

その後は御池山の隕石クレーターに立ち寄り見学します。このクレーターは、数万年前に直径40~50メートルほどの隕石が衝突してできた痕跡であるとして確認された、日本で唯一のクレーターです。直径は900メートルですが、現在は全体の40パーセントが残っています。まるで古代からの息吹が聞こえてきそうな大自然の造形美を味わいましょう。

そしてあのスタジオジブリの宮崎駿氏が訪れ作品の構想を練ったという下栗の里に向かい

ます。下栗の里は、最大傾斜38度の急な山肌を昔の人々が切り開き、開墾して暮らしを営んできた場所です。平成21年には「にほんの里100選」にも選ばれ、さまざまなメディアを通じて全国的にその名が知れ渡るようになったのですが、交通インフラなどの観光地化が進んでいるわけでもありません。それでも多くの人々が集まるのは、地元の人たちが、美しい自然のもとで築き上げてきた歴史に誇りを持って生活を営むその光を観に来るからで、まさに21世紀の観光を体現している場所と言えます。ぜひ一緒にその光を体感して、21世紀の生き方を肌で感じ取りましょう。

そして最後に木沢地区にある旧木沢小学校に向かいます。

旧木沢小学校は平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在に残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が木沢地区活性化推進協議会という団体をつくって、木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山郷の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である遠山森林鉄道、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した藤原文庫もあります。さらにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、演奏会、映画会の開催、引っ越しのサカイのCM撮影などが行われていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。そしてこの小学校のすぐ隣に遠山藤原学校の事務所があり、その隣には、遠山藤原学校観光農園があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、当社で募った遠山郷ボランティアと地元のみなさんが力を合わせて3年前に開いたばかりの農園で、遠山藤原学校における木沢地区の里山整備の拠点にしようとしている農園です。またここでは21世紀の肥だめとして注目されている新しい複合発酵技術を使った液肥を作り、散布しています。その肥料効果は絶大で、昨年は大変豊かな稔りをいただくことができました。

その旧木沢小学校で午後3時45分に解散。道の駅「遠山郷」に駐車された方、電車でお帰りの方はかぐらの湯までお送りいたします。かぐらの湯からは平岡駅まで乗合タクシーが出ています。乗合タクシーはかぐらの湯を16時7分に出て、平岡駅には16時28分に着きます。そして電車で東京方面にお帰りの方は、平岡を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋18時31分着。そして豊橋18時45分発のひかり530号に乗り換えて、東京には20時10分に到着します。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に遠山郷の自然と人情、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、遠山郷の里山に遊び、またよく学んでいただいて、遠山郷のファンとなり、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思います。一人でも多くの方のご参加を心からお待ちしております。

2013年6月吉日
シンクタンク藤原事務所
会長・経済アナリスト 藤原直哉

< 2、研修日程表 >

7月27日（土）

時間		予定	写真
12:30	集合	<u>道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合</u> 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:45	昼食	和田地区の食堂、「元屋」にて	
13:30	出発	和田地区内を散策 和田宿、龍淵寺、殿町の茶屋、遠山郷土館、 カフェ「和田城」など	
15:00	出発	<u>里山ロハス体験グループ</u> 木沢地区に向けて遠山郷スタッフの車で出発	アンバマイ館
15:15	到着 実習	旧木沢小学校到着 遠山藤原学校観光農園にて農業体験	
16:45	出発	和田地区に向けて出発	
15:00	学習	<u>学習グループ</u> 遠山郷土館内、会議室にて学習 藤原直哉講演「21世紀の精神世界と生き方」 なお、講演内容は里山グループに無償提供	龍淵寺
17:00	出発	1日目の学習終了。徒歩で「かぐらの湯」へ	
17:20	到着	遠山温泉郷「かぐらの湯」で入浴	
18:20	出発	今日のお宿、いろいろの宿島畑へ車で出発 (お宿が送迎いたします)	
18:35	到着	いろいろの宿島畑に到着、チェックイン	かぐらの湯
19:00	夕食	いろいろの宿島畑にて夕食・懇親会	
21:00	出発	二次会希望者はセラード「舞夢」へ	
			遠山郷の名物
			
			遠山川の清流

7月28日(日)

時間	予定	写真
7:00	朝食 いろいろの宿島畑にて	
8:00	出発	
8:20	到着	
8:45	出発	
9:45	到着	
10:15	出発	
11:15	到着	
12:15	出発	
12:35	到着	
12:55	出発	
13:30	到着	
15:00	出発	
15:30	到着	
15:45	解散	
	<p>旧木沢小学校にて解散</p> <p>電車でお越しの方、お車でお越しの方は、道の駅「遠山郷」内、「かぐらの湯」までお送りします。</p> <p>乗合タクシーの「かぐらの湯」出発は16:07、豊橋方面行特急の平岡出発は16:42です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンをご用意下さい。</u> <p><u>なお、道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には、臨機応変に迂回します。また山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。</u></p>	<p>殿町の茶屋</p>  <p>観音霊水</p>  <p>旧木沢小学校</p>  <p>しらびそ峠の展望台</p>  <p>下栗の里</p>

< 3. 研修費用 >

大人 1名	30,000円
学生（大学生・専門学校生以下、中学生以上） 1名	15,000円
子供（小学生以下） 1名	5,000円

なお、お食事とお布団、バスの座席の事前のご用意が必要でない乳児は無料です

(1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、 いろいろの宿 島畑 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内580 TEL 0260-34-2286 FAX 0260-34-2281
・ 食事料金	日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回
・ 入浴料 ・ 入館料 ・ 講演料 ・ ガイド料 ・ 管理料 ・ 鉄道・バス費用 ・ 旅行保険料	日程表に記載された施設での入浴料、入館料、講演料、ガイド料、管理料 日程表内の貸切バス交通費、下記旅行保険料は研修費用に含まれています。
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害2千万円)

(2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

< 4. 旅行手配およびバス運行 >

マツカワ観光バス株式会社

詳細は後述のパンフレット参照ください。

< 5. 研修要領 >

募集人員	<p>20名（最小催行人数：10名） なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください （FAX または郵送でお願いします）</p>	
研修代金	<p>2013年7月19日（金）までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込みください。 郵便局 記号：10250 番号：89520371 口座名義：有限会社藤原事務所 または ゆうちょ銀行（郵便局） 店名：〇二八（ゼロ二ハチ） 店番：028 預金種目：普通預金 口座番号：8952037 口座名義：有限会社藤原事務所</p>	
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p>	
	<p>出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</p>	<p>大人1万円 学生5千円 子供2千5百円</p>
	<p>出発日の前日より起算して2週間前まで</p>	<p>参加費用の40%</p>
	<p>出発日の前々日および前日</p>	<p>参加費用の50%</p>
	<p>出発日の当日又は無連絡不参加の場合</p>	<p>参加費用の80%</p>
	<p>研修開始後</p>	<p>参加費用の100%</p>
研修主催（お問い合わせ）	<p>シンクタンク藤原事務所 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-13-12 ASUKAビル2F 電話 0465-44-4750 FAX 0465-44-4751 電子メール iwamoto@fujiwaraoffice.co.jp 担当 岩本寛（いわもと ひろし） <u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <u>090-3046-6354</u></p>	

< 6. 研修概要 >

・ 研修名称	2013年7月 遠山藤原学校研修
・ 日時	2013年7月27日(土)・28日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区および下伊那郡
・ 集合・解散場所	集合：27日(土) <u>12:30 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館</u> 解散：28日(日) 15:45 旧木沢小学校 <u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <u>090-3046-6354</u>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演、学習など
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉および地元、学校スタッフ

< 7. 現地集合・解散場所まで/からの自家用車、電車での交通手段 (ご参考) >

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」(かぐらの湯バス停目の前) (電話 0260-34-1071) 中央高速道 飯田、松川インターチェンジから約1時間 中央高速道 飯田山本インターチェンジから約1時間 新東名高速道 浜松浜北インターから、 兵越峠経由で約2時間</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から (行き) 東京 8:33 ひかり505号 豊橋 9:58 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57 下車後、かぐらの湯まで乗合タクシーで20分 お一人650円 (帰り) 旧木沢小学校からかぐらの湯まで車で10分、 かぐらの湯から平岡駅まで乗合タクシーで20分 平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:45 ひかり530号 東京 20:10</p>

< 8. 注意事項、および持ち物など >

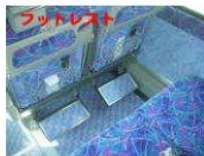
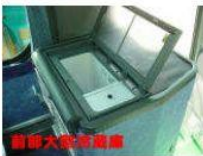
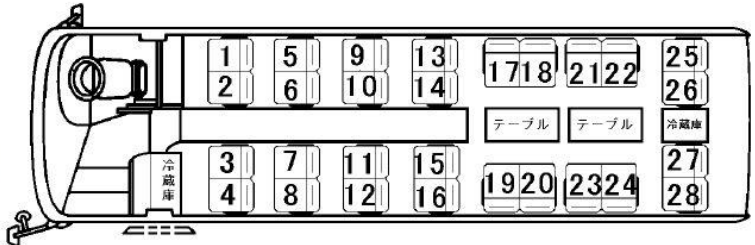
- ・ 里山ロハス体験グループの方は農園作業を行いますので、運動靴、汚れてもよい作業着、軍手、帽子をお持ち下さい。
- ・ 農作業用の長靴は当方で用意します。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンをご用意下さい。
- ・ 朝夕は冷え込みますので、防寒具や上着をお持ちください。
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

希望と心のふれあいの旅



便利・快適・安全を追求したスーパーサルーンバス Isuzu 465 28席

座席配置(サロン状態、座席を回転して前向きにも出来ます)



- 主な装備・仕様
- 足元ゆったりフットレスト付 28 席
 - 全シート可倒式アームレスト
 - シートバックテーブル・シートポケット
・コップ立て・灰皿
 - 8 席回転サロン (4 席のみでも使用可)
 - サロン席 2 分割テーブル
 - トレー式ルームラック
 - 大型ボトルクーラー (前後 2ヶ所)
 - 大型貫通トランク
 - 大型冷凍冷蔵庫 (60Lトランク内)
 - 給湯ポット
 - 電動格納式カラー液晶TV (前部 20 型, サロン席 15 型)
 - TVチューナー
ビデオ・CD・DVDデッキ
 - シンセサイザーカラオケ
 - 遠赤外線式ワイヤレスマイク
 - 障害物のないフロントワイドビュー
 - 乗り降りスムーズ フロントタイプ (120mm)



松川町から望む南アルプス(赤石山脈) (上段:南アルプスの山々、中段:前山の山々、下段:伊那山地の山々)

営業案内

貸切バス事業 **一般貸切、各種送迎**

小さなグループから団体旅行まで
旅のガイド付、地域観光案内

旅行事業 **海外旅行、国内旅行**

一度行ってみたいかった話題の観光地
ご希望に応じたコースの企画・見積と
手配・ご案内をさせていただきます



4列20人乗りサロン車



4列21人乗りサロン車

マツカワ観光バス株式会社

本社/営業所 TEL 0265-36-2345(代)
FAX 0265-36-6060

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2
一般旅客運送業 北信交旅第813号
長野県知事登録旅行業 第3-442号
社団法人 全国旅行業協会正会員

申 込 書

2013年7月 遠山藤原学校研修

7月27・28日

ご記入日： 年 月 日

選択してください

・ 自家用車ご参加

・ 電車でご参加

フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前		生年 月 日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)			
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月 日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月 日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月 日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)

■ ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。			
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。		
	部署：	役職：	
ご連絡先 住所	〒 _____		
TEL	() -	FAX	() -
携帯電話	緊急時 連絡可・不可		
電子メール	@		
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
※部屋割りの参考にさせていただきます。			

選択してください

- 参加グループごとに人数をご記入ください。 学習グループ 大人 名 子供 名
(別れてご参加の方はそれぞれに人数をご記入ください) 里山ロハス体験グループ 大人 名 子供 名
- ベジタリアン料理をご希望の方は丸印をおつけください。 ベジタリアン料理を希望
- その他ご希望等ございましたらご記入ください。

シンクタンク藤原事務所 担当：岩本 寛 (いわもと ひろし)

TEL : 0465-44-4750

E-Mail iwamoto@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先： 0 4 6 5 — 4 4 — 4 7 5 1 ↑